

ともに考え、ともにつくる ―連携による体制整備の取組―

埼玉県加須保健所
保健予防推進担当
武

本日の内容

- 1 埼玉県東部地域について
- 2 令和7年度春日部保健所 拠点保健所災害対応研修
- 3 研修後の取組(全体・加須保健所及び管内自治体)
- 4 研修を通して得られた成果
- 5 加須保健所管内における今後の展開

1 埼玉県東部地域について



2 令和7年度 春日部保健所拠点保健所災害対応研修

目的 拠点保健所管内の各自治体保健師等が、災害発生時に行うべき保健活動に関する最新の知識や情報を得て、各自治体における保健医療活動を迅速かつ確実に行うことができる。
また、継続的な研修を行うことにより、学びを深め拠点管内全体の災害対応能力の向上を目指す。
なお、この研修は春日部保健所拠点管内における保健師の現任教育の一環とする。

対象 春日部保健所拠点管内の管理期保健師 ※中堅後期（経験年数11年目以降）から管理期職員を想定
2回目からは、保健衛生部門の管理的立場の事務職員、危機管理部門職員等を追加

日時・場所	目標	参加人数
【第1回】 7月17日（木） 13:30～16:30 春日部市保健センター	（1）災害時対応の基本及び関係法令を理解する。 （2）災害発生時に各自治体において求められる保健師の役割を理解し、平時から健康危機管理に対する準備性を高め災害に備えることができる。 （3）拠点管内自治体保健師が平時から管轄する保健所及び近隣自治体保健師と連携し、健康危機管理に備えたネットワークを構築する。	55人 保健師50人 （市40人・県10人） 行政職5人 （市4人・県1人）
【第2回】 1月21日（水） 13:30～16:30 春日部地方庁舎大会議室	（1）災害発生時の指揮命令系統について確認・検討をおこない、初動体制を確立することができる。 （2）フェーズ0～2におこなう保健活動をイメージし、平時から救護所および避難所における保健活動の準備性を高めることができる。 （3）統括保健師および補佐的役割保健師が災害発生時に各々が求められる役割を理解し、平時から健康危機管理に対する準備性を高め災害に備えることができる。 （4）平時から各自治体と管轄保健所が連携を図ること、また各自治体においては庁内連携を強化しながら、健康危機管理に備えた準備性を高めることができる。 ※出典：春日部保健所作成資料を基に作成	57人 保健師47人 （市37人・県10人） 行政職10人 （市7人・県3人） 4

令和5年度厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）
自治体における災害時保健活動マニュアルの策定及び活動推進のための研究

市町村における 災害時保健活動マニュアルの策定 及び活用のためのガイド

2024年3月

本編 初版

令和5年度厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）
自治体における災害時保健活動マニュアルの策定及び活動推進のための研究

市町村における災害時保健活動マニュアルの策定及び活用 のためのガイド 【別冊 初版】

2024年3月

書き込みながら作成する
“はじめてのマニュアル策定”

【メッセージ】

○この別冊は「市町村における災害時保健活動マニュアルの策定及び活用のためのガイド（本編）」をもとに、はじめてのマニュアル策定に取り組むことをねらいとして作成しました。
○はじめの一歩として、「市町村における災害時保健活動マニュアルの策定及び活用のためのガイド（本編）」の2.マニュアルの基本項目の内容を参照し、着ていきそうな項目から、別冊の該当ページに書き込みながら、マニュアルを策定してみよう。
○文中の**記入アンダーライン部分**は、所属自治体に合うように、加筆修正し、記入してみましょう。
○策定の体制は、例えば、保健活動の担当部署内から策定ワーキングチームをつくり（保健課、管理栄養士、歯科衛生士等の保健活動従事者等）進める、などがあります。
○策定したマニュアルは、策定の担当者（チーム）→係→課→他部署等へ意見を求めながら、庁内への周知を図り、マニュアルの初版を完成させましょう。

この「市町村における災害時保健活動マニュアルの策定及び活用のためのガイド」は、
以下のメンバーによって作成しました。

自治体における災害時保健活動マニュアルの策定及び活動推進のための研究班

宮崎美砂子（千葉大学大学院看護学研究院 教授）

尾島 俊之（浜松医科大学 医学部 教授）

奥田 博子（国立保健医療科学院 健康危機管理研究部 上席主任研究官）

春山 早苗（自治医科大学 看護学部 教授）

雨宮 有子（千葉県立保健医療大学 健康科学部看護学科 准教授）

古川 悦子（日本赤十字看護大学 看護学部 准教授）

岩瀬 靖子（千葉大学大学院看護学研究院 講師）

草野富美子（広島市東区厚生部長（事） 地域支えあい課長 広島市東福祉事務所長）

相馬 幸恵（新潟県新発田地域振興局健康福祉環境部 副部長・企画調整課長）

築場 玲子（宮城県保健福祉部疾病・感染症対策課 技術助事兼総括課長補佐）

立石清一郎（産業医科大学 産業生態科学研究所 災害産業保健センター 教授）

五十嵐 侑（産業医科大学 産業生態科学研究所 災害産業保健センター 助教）

井口 紗織（千葉大学運営基盤機構ダイバーシティ推進部門 特任助教）

花井 詠子（千葉大学大学院看護学研究科博士後期課程 大学院生）

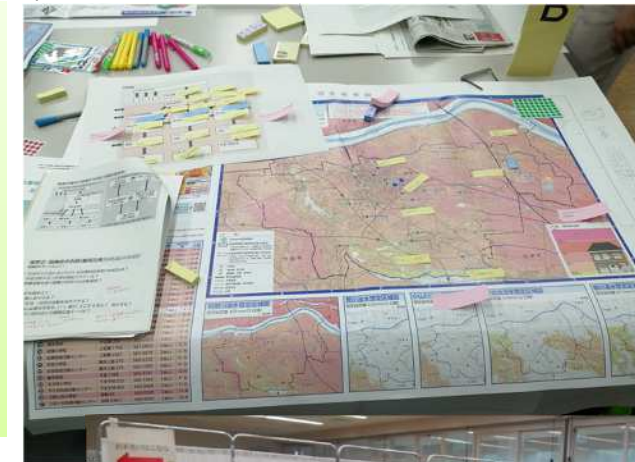
春日部保健所における災害対応研修・概要

R7年度・第1回研修 (7/17)

- ・ 地域防災計画の組織図、ハザードマップを持参
- ・ 講義 災害とは、発生時の対応体制、災害時保健活動と平時の備え、後悔しないために
- ・ 演習
 - ・ 各自治体の被災（豪雨災害）シミュレーション：地図で災害ハザードを確認
 - ・ 指揮命令系統シミュレーション：組織図で人の配置と情報収集・報告ルートを確認
 - ・ フェーズ0～1の活動イメージし、平時の準備を確認
- ・ 第2回までの課題

市町村における災害時保健活動マニュアルを1行でも進めることが課題

R7年度第1回研修で使用したハザードマップ



R7年度・第2回研修 (1/21)

第2回研修前アンケート実施

- ・ 第1回研修時からの発展事例実践報告（2市2HC）
- ・ 講義 迅速・適切な発災対応を実現する組織体制と指揮命令系統、健康危機に関わる統括保健師の機能・役割、フェーズ0～2：救護所・避難所における保健活動、災害時保健医療福祉チームとして機能する等
- ・ 演習
 - ・ 既存の災害時保健活動マニュアルの確認とアクションの明確化（実効的な体制かの見定め、困る事・不明点・矛盾点の有無、関係部署への相談事項等）
 - ・ フェーズ0～2の救護所・避難時における保健活動の明確化（同上）



R7年度第1回研修の様子



R8年度・講師保健所打ち合わせ(6/23)

- ・ 拠点保健所、他保健所が参加
- ・ R7年度研修の振り返り
- ・ 各保健所管内の取組状況等を共有→講師から各保健所に取り組推進の手がかりになる助言あり
- ・ 今年度研修の調整



R8年度・取組状況アンケート と結果・資料提供(7・8月)

- 拠点保健所が拠点保健所管内自治体16市町と保健所に取り組状況アンケート調査を実施
 - 【内容】マニュアル・アクションカード作成状況、拠点研修後に取り組んだこと、所属全体の防災関連事業、管内全体の防災関連事業等
- アンケート結果及び各自治体で作成したマニュアル等の全体共有あり



R8年度・第1回 (1月)に続く



継続性のある研修



具体的な災害対策

の一步に繋がる内容



フォローアップ体制

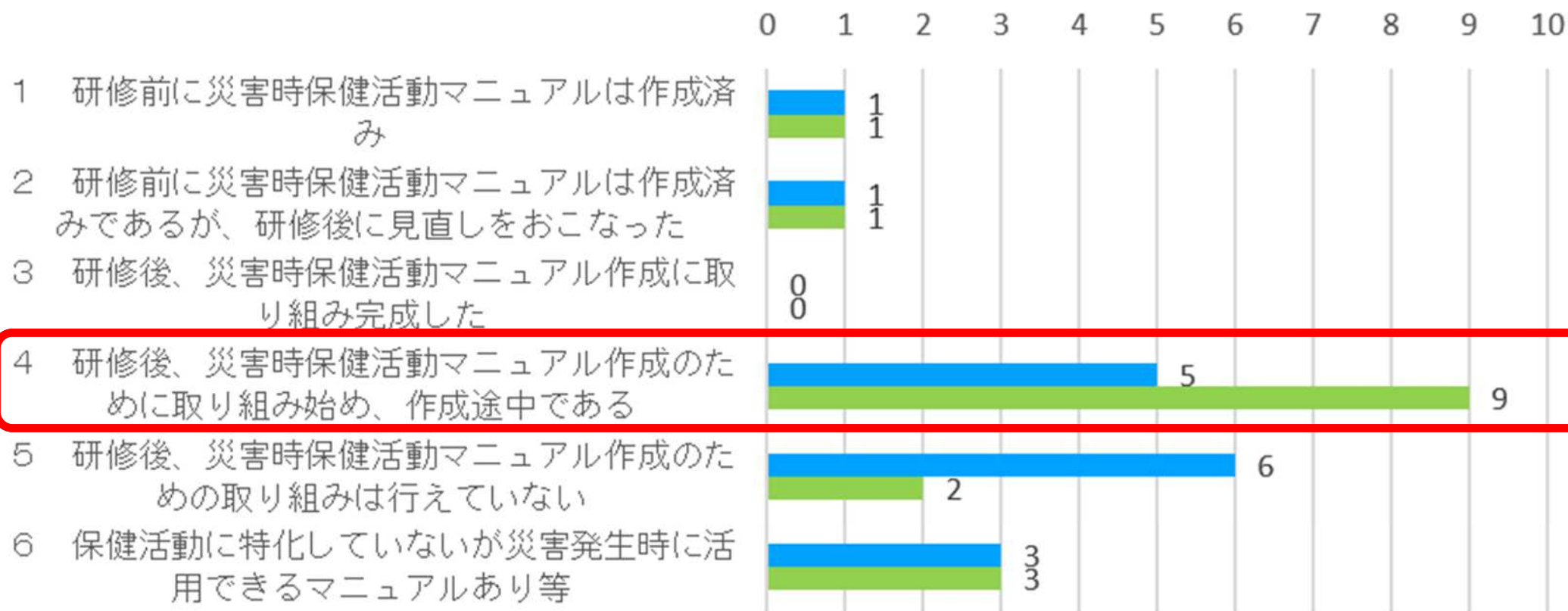


参考事例の共有



拠点HC・HC・市町
みんなが一步踏み出す
きっかけに

3 令和7年度春日部保健所研修後の取組(全体)



■ 令和7年度2回目研修前マニュアル作成取組状況

■ 令和8年度7月末時点マニュアル作成取組状況

n=16

8

※出典 春日部保健所実施アンケート結果（令和7年度、令和8年度実施）を基に作成

(参考) 春日部保健所アンケート内容

災害にかかわる取組共有シート(県保健所用)

保健所名	災害発生時に活用できるマニュアルやアクションカードの作成状況 ※1	昨年度実施した拠点研修後に取組んだこと ※2	所属全体で取り組んでいる防災関連事業(予定を含む)	管内全体で取り組んでいる防災関連事業(予定を含む)	次回の研修で取り上げてほしい内容があればお書きください
------	--------------------------------------	---------------------------	---------------------------	---------------------------	-----------------------------

災害にかかわる取組共有シート(市町用)

市町名	災害時保健活動マニュアルの策定状況 ※1	災害発生時に活用できるマニュアルやアクションカードの作成状況 ※1	昨年度実施した拠点研修後に取組んだこと ※2	所属(貴自治体)全体で取り組んでいる防災関連事業(予定を含む)	貴自治体の地域防災計画における「保健活動」の記載の有無	貴自治体の地域防災計画、救護所、避難所運営マニュアル等における保健師の役割記載の有無(有の場合はその内容)	貴自治体の地域防災計画の見直し等に係る会議への保健師(または保健専門の職員)の委員としての参画の有無	市内の保健師全体で災害発生時対応について検討する機会の有無	次回の研修で取り上げてほしい内容があればお書きください
-----	-------------------------	--------------------------------------	---------------------------	---------------------------------	-----------------------------	---	--	-------------------------------	-----------------------------

3 加須保健所及び管内自治体の取組み

- 1 管内 県・市保健師連絡調整会議を活用した取組状況の確認と共有
 - ・2市がマニュアル作成開始、他1市も防災担当と情報共有
- 2 管内 感染症研修会等で「災害発生時の感染症対策」 3年間予定
 - ・管内医療機関感染症担当者会議、社会福祉施設向け研修会
 - ・継続的な取組。講義＋机上訓練、アクションカード作成、体験等
- 3 所内 保健予防推進担当でアクションカード作成及び訓練
- 4 所内 地域保健推進担当(災害対策調整本部立ち上げ担当)と取組状況の共有

4 研修を通して得られた成果(全体)

拠点保健所研修



災害時保健活動に関する意識の向上
統括保健師配置の推進

プロセス＝成果

保健所と市の顔の見える関係
保健所が市の災害対応を知る機会
市の庁内連携の強化
(分散保健師が集まる・防災担当と情報共有)
保健所内連携の強化

災害時保健活動マニュアル
アクションカードなど



5 加須保健所管内における今後の展開

